１．件名：原子力機構バックエンド対策監視チームに関する事業者面談（8）

２．日時：令和 6 年 2 月 7 日（水）14 時 30 分～16 時 30 分

３．場所：原子力規制庁 10 階南会議室（TV 会議により実施）

４．出席者：

原子力規制庁

原子力規制部　審査グループ　研究炉等審査部門

伊藤主任安全審査官、本多主任安全審査官、立元管理官補佐、

大塚安全審査専門職、澁谷安全審査専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部　バックエンド推進部　主査

廃止措置推進室　室長

廃棄体化推進室　室長　他１名

埋設事業センター　センター長　他２名

安全・核セキュリティ統括本部　安全管理部　課員

経営企画部　部員

人形峠環境技術センター　廃止措置・技術開発部　部長　他１名

計画管理室　室長

ＵＦ６対策推進室　主幹

敦賀廃止措置実証本部　使用済燃料プロジェクト推進室　副主幹

５．要旨

（１）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、次回の第 8 回原子力機構バックエンド対策監視チーム会合における議題の案について、資料に基づき説明があった。

（２）原子力規制庁から、以下の点を伝えた。

・廃棄物埋設に関する意見交換について、意見交換を通して解決に取り組もうとしている廃棄物の分量が、機構の抱える廃棄物の全体量に対してどの程度の割合であるか説明すること。

・45 施設の廃止措置進捗一覧表については、許認可申請の状況を安核本部で再確認するなどして、正確を期すこと。

・人形峠環境技術センターの UF_6 の譲渡しについては、公開会合で扱える情報の範囲を明確にすること。

（３）原子力機構から、今回の面談を踏まえ対応する旨の発言があった。

６．その他

資料１：原子力機構の廃棄体製作及び廃棄物埋設に関する意見交換について

資料２：原子力機構における廃止措置の現状

以　上